



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 データセクション株式会社

コード番号 3905 URL <http://www.datasection.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO

(氏名) 澤 博史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO

(氏名) 望月 俊男

TEL 03-6427-2565

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	254	38.8	28	—	23	442.6	12	356.8
28年3月期第2四半期	183	4.0	△0	—	4	△89.4	2	△90.5

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 13百万円 (540.3%) 28年3月期第2四半期 2百万円 (△92.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	1.21	1.08
28年3月期第2四半期	0.27	0.24

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	1,141	1,044	89.9	96.94
28年3月期	1,066	1,011	93.8	96.95

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 1,026百万円 28年3月期 999百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	520 ～720	18.2 ～63.7	20 ～150	△29.9 ～425.6	20 ～150	△45.2 ～310.7	10 ～81	△58.8 ～209.3	1.05 ～7.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	10,591,000 株	28年3月期	10,313,400 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	— 株	28年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	10,323,337 株	28年3月期2Q	10,314,873 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料 P. 3「1. 当四半決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の我が国経済は、政府の金融政策の効果もあり、引き続き企業収益の回復基調や雇用環境の改善傾向が見られますが、個人消費に関しては停滞感がみられる状況です。一方、2016年9月に日本を訪れた訪日外客数は9月としては過去最高となる推計191万8000人(※)に達するなど引き続き堅調に推移し、国内消費に寄与しています。海外経済については、中国経済の失速やイギリスのEU離脱問題などにより、引き続き先行きへの不透明感が強い状況です。

このような環境の中、当社グループは今期、主にディープラーニングを活用したサービスと、訪日外国人分析を中心とした海外インバウンド事業に重点的に取り組んでまいりました。ディープラーニングを活用したサービスでは、当社グループへの技術力に高い評価を頂いた結果、多くの大手事業会社との共同研究開発を推進しております。また、海外インバウンド事業は訪日外国人に対する旺盛な分析需要もあり、多くの問い合わせを頂き、案件化している状況です。今後は、ディープラーニング活用サービスと、海外インバウンド事業を当社グループの継続的な収益の柱とすることを目指し、引き続き重点事業として取り組んでまいります。

また、大手事業者とのアライアンスも実現しています。具体的には株式会社共同通信イメージズと株式会社インテージとの資本業務提携締結です。株式会社共同通信イメージズとは、ソーシャルビッグデータを活用した災害通知システムの拡販を共同で推進する予定です。また、株式会社インテージとは、両者の強みを活かした生活者と企業をつなぐ共創メディア事業の展開を推進する予定です。

中・長期的には、来るべきIoT社会の到来に向け、当社グループが得意とするディープラーニングを中心としたAI技術開発を推進し活用することで、自動運転分野やフィンテック事業など、公共性の高い事業へ積極的に取り組んでまいります。

(※日本政府観光局(JNTO)発表資料より)

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高254百万円、営業利益は28百万円、経常利益は23百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は12百万円になりました。

当第2四半期連結累計期間の業績は次のとおりであります。

(売上高)

当第2四半期連結累計期間における売上高は254百万円となりました。

サービスごとの概況は、以下のとおりであります。

(a) SaaS

SaaSサービスにおいては、ソーシャルメディア分析ツール「Insight Intelligence」、書き込みアラートサービス「Insight Checker」、テキストマイニングツール「Easy Mining」、事故・災害情報検知サービス「Social Hazard Signage」及び不適切投稿監視サービス「Social Monitor」を提供しております。特に、前期においては前連結会計年度に提供開始した「Social Monitor」の受注が、収益に寄与しております。

(b) ソリューション

ソリューションサービスにおいては、顧客が持つ「自社内ビッグデータ」を元に当社グループに蓄積されている「ソーシャル・ビッグデータ」を組み合わせて、前述のSaaSサービス技術を活用したセミオーダー型システム開発を行うものです。

昨今は、製造業・物流業などから自社内に保有するさまざまなビッグデータを業務改善に活用したいという企業側の要望もあり、そうしたニーズに基づいた在庫最適化へのビッグデータ活用など、従来の業務領域の枠にとどまらない事業展開を視野に入れた活動を継続して行っております。また、株式会社共同通信イメージズとの資本業務提携を契機に、報道機関へのソリューション事業展開を進めてまいります。

(c) リサーチコンサルティング

リサーチコンサルティングサービスにおいては、SaaSで提供するサービスだけでは自社の要望を可視化することが困難な顧客に対し、商品やプロモーションに対するロコミの専門家分析や、消費者と企業とのつながり度を高めるソリューションを提供するものであります。

従来からの国内レポート事業、海外インバウンドサービスに加え、AIを活用したリサーチコンサルティングも進めております。画像解析技術を活用した「利用シーン発掘サービス」では、従来のキーワード分析では発見することができなかった消費者のさまざまな利用シーンの発掘を実現しております。

その他の事例としては、連結子会社であるWeavers株式会社と株式会社インテージとの資本業務提携を実現しました。データセクショングループの保有するビッグデータ分析力や高度なAI技術と、インテージグループの保有するリサーチノウハウ・データ解析力・システム化技術を活用することで、生活者と企業に対するリサーチコンサル

ーションに基づく新たな共創メディアの立ち上げを推進してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、871百万円となり、前連結会計年度末に比べて19百万円増加いたしました。この主な要因は、現金及び預金が19百万円増加したことによるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、270百万円となり、前連結会計年度末に比べて55百万円増加いたしました。この主な要因は、投資その他の資産が43百万円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、94百万円となり、前連結会計年度末に比べ42百万円増加いたしました。この主な要因は、未払金が11百万円、未払法人税等が10百万円増加したことによるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、1百万円となり、前連結会計年度末に比べて0百万円増加いたしました。この要因は、資産除去債務の利息費用であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、1,044百万円となり、前連結会計年度末に比べて32百万円増加いたしました。この主な要因は、新株予約権の行使に伴う資本金及び資本剰余金が3百万円増加すると共に、親会社株主に帰属する四半期純利益を12百万円計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績予想につきましては、平成28年5月2日に「平成28年3月期 決算短信[日本基準(連結)]」にて公表いたしました平成29年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	718,509	738,119
受取手形及び売掛金	124,174	97,646
仕掛品	-	13,398
その他	9,429	22,171
流動資産合計	852,113	871,335
固定資産		
有形固定資産	28,772	30,986
無形固定資産	105,624	115,512
投資その他の資産	79,783	123,589
固定資産合計	214,179	270,088
資産合計	1,066,293	1,141,424
負債の部		
流動負債		
未払金	31,496	42,593
未払法人税等	3,192	13,837
賞与引当金	-	2,802
その他	17,640	35,491
流動負債合計	52,329	94,724
固定負債		
資産除去債務	1,988	1,994
固定負債合計	1,988	1,994
負債合計	54,318	96,719
純資産の部		
株主資本		
資本金	511,642	515,530
資本剰余金	282,745	293,156
利益剰余金	205,457	217,962
株主資本合計	999,845	1,026,649
新株予約権	7	7
非支配株主持分	12,121	18,048
純資産合計	1,011,974	1,044,705
負債純資産合計	1,066,293	1,141,424

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	183,135	254,238
売上原価	85,880	114,011
売上総利益	97,255	140,227
販売費及び一般管理費	98,244	111,394
営業利益又は営業損失(△)	△989	28,833
営業外収益		
保険解約返戻金	5,832	-
消費税免除益	798	1,126
その他	351	77
営業外収益合計	6,981	1,204
営業外費用		
有価証券運用損	1,272	7
持分法による投資損失	158	4,269
為替差損	-	2,517
その他	277	-
営業外費用合計	1,708	6,793
経常利益	4,283	23,243
特別損失		
減損損失	-	5,870
特別損失合計	-	5,870
税金等調整前四半期純利益	4,283	17,373
法人税、住民税及び事業税	2,738	10,467
法人税等調整額	△567	△6,620
法人税等合計	2,171	3,846
四半期純利益	2,112	13,526
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△625	1,021
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,737	12,505

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	2,112	13,526
四半期包括利益	2,112	13,526
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,737	12,505
非支配株主に係る四半期包括利益	△625	1,021

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,283	17,373
減価償却費	16,987	26,413
減損損失	—	5,870
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	2,802
受取利息及び受取配当金	△79	△33
持分法による投資損益(△は益)	158	4,269
保険解約返戻金	△5,832	—
有価証券運用損益(△は益)	1,272	7
為替差損益(△は益)	△252	2,517
その他の営業外損益(△は益)	35	—
売上債権の増減額(△は増加)	18,355	26,527
棚卸資産の増減額(△は増加)	△494	△13,398
未払金の増減額(△は減少)	11	9,762
未払消費税等の増減額(△は減少)	△12,445	1,633
その他の資産の増減額(△は増加)	2,489	△10,570
その他の負債の増減額(△は減少)	△804	17,151
小計	23,685	90,327
利息及び配当金の受取額	79	33
法人税等の支払額	△17,287	△1,833
法人税等の還付額	—	1,907
その他	△35	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,441	90,434
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,944	△4,673
無形固定資産の取得による支出	△34,640	△39,706
保険積立金の積立による支出	—	△2,730
保険積立金の解約による収入	12,972	—
投資有価証券の取得による支出	—	△40,400
差入保証金の差入による支出	△10,000	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△33,613	△87,511
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	9,110	7,776
非支配株主からの払込みによる収入	5,800	11,428
財務活動によるキャッシュ・フロー	14,910	19,204
現金及び現金同等物に係る換算差額	252	△2,517
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△12,009	19,609
現金及び現金同等物の期首残高	802,061	717,509
現金及び現金同等物の四半期末残高	790,051	737,119

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

当社グループは、ソーシャル・ビッグデータ事業の単一セグメントであるため、記載は省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

当社グループは、ソーシャル・ビッグデータ事業の単一セグメントであるため、記載は省略しております。